

## 都市経済分科会委員長報告

去る3月2日の予算決算常任委員会において、都市経済分科会に分担されました案件について、3月6日及び7日に都市経済分科会を開催し、慎重に審査を行いましたので、その審査の経過について御報告申し上げます。

まず、審査に先立ち、平成30年度予算審査における抽出事業である「商工業振興事務経費」に係る現地調査として、鹿嶋市商工会との意見交換会を行い、次に案件の審査を行いました。

本分科会に分担されました案件は、議案第1号中都市経済分科会分担事項、議案第5号、議案第6号、議案第9号、議案第10号及び議案第11号の6議案であります。

審査経過の主な内容につきましては、次のとおりであります。

議案第1号 平成30年度鹿嶋市一般会計予算では、市営住宅管理費については収入支出の割合や入居希望者の待機人数及び空き部屋の状況について、公園管理費については公園長寿命化計画策定に伴う対象施設について、融資保証関係経費については自治・振興金融利子補給制度の休止について、緑化推進事業については花いっぱい運動における花壇の管理状況について、質疑がありました。また、市営住宅管理費については高齢化に対応するためエレベーターの設置を検討すべきとの意見がありました。

議案第5号 平成30年度鹿島臨海都市計画事業鹿嶋市平井東部土地区画整理事業特別会計予算では、保留地処分推移、物件移転補償費の内容、土地区画整理審議員の任期について、質疑がありました。

議案第10号 平成30年度鹿嶋市水道事業会計予算では、大船津地内の山崎浄水場の廃止に伴う利用者及び周辺への影響について、質疑がありました。

続いて、平成28年度決算審査評価事業について、評価結果の新年度予算への反映状況を調査しました。

「駅前施設管理費」については、盗難防止を目的とした防犯カメラの設置も計画されており、予算配分も適正であるが、東日本大震災により観光案内所や看板等が大分傷んでいる状況であるため、オリンピック開催に向けた具体的な整備方針が決定しだ

い、オリンピック関連の予算化も検討願いたいとの要望がありました。また、オリンピックの開催に伴い、鹿嶋市を訪れたお客様がオリンピック関連のグッズ等を買求められる場所等の確保が必要であるとの意見がありました。

「農業公社支援事業費」については、農業公社の組織体制の強化を図るため、技術職員採用及び農業機械施設等の更新を計画的に行うなど、限られた予算の中で改善がみられる。今後も施設の老朽化対策及び組織体制の強化に努め、早期に稲作の一括受託へ移行できるよう期待しているとの要望がありました。

「広域観光対策事業」については、アントラーズホームタウンDMOが平成30年1月に法人化され、事業計画が作成されたことから、地方創生推進交付金の交付期間において、自走化できるよう事業基盤の構築支援を行うとともに、官民広域連携により、鹿行地区の資源・強みを活かした事業展開に取り組み、地域に還元されるような工夫を取り入れることが必要との意見がありました。

続いて、平成30年度予算審査抽出事業について、重点的に調査を行いました。

「商工業振興事務経費」については、事業の効率性、公平性について、更なる工夫や視野を拡げることが求められるが、市内商工業の発展には必要不可欠な事業であり、継続的に支援しなければならないとの提言がありました。また、創業意欲のある方々に対して解かり易く周知を行い、多くの創業へ繋げていくべきとの意見がありました。

「農業振興事業」については、近代的な生産方式の導入、栽培技術の向上、生産コストの低減など、継続的な支援は必要不可欠なものであり、安定的な財源を継続的に確保しなければならないとの提言がありました。また、新規就農総合支援事業を活用して、もっと多くの新規就農へ繋げるとともに、販路開拓について検討していくことも必要との意見がありました。

「幹線道路整備事業」については、市民要望も多く、市民生活の安全性と利便性の向上が見込まれ、また、計画路線に関しては警察や学校関係者で検討した交通安全プログラムに位置づけられていることから公平性も確保されている。計画に位置づけられている整備箇所については、学校の通学路にもなっているようなので安全面からも早期解消を希望するとの意見がありました。

以上が、本分科会に分担されました案件についての審査の経過であります。